



## 奈良県議会会派

# 日本維新の会NEWS

奈良県議会会派 日本維新の会 Tel 0742-27-7454 (日本維新の会議員控室)



### 令和5年12月定例会報告

維新の山下知事になり実現

## 関西広域連合に全部参加決定

情報共有が進み、奈良県の課題解決につながるなどメリットいろいろ

一方 維新の会は反対した

## 議員ボーナス引上げ議案が可決

“わざわざ”自分たちの報酬を上昇させる「お手盛り議案」

令和5年最後の定例会が終了いたしました。

12月定例会では、14名の維新議員が各分野において、

県民の立場に立ち積極的な議論を展開しました。

また、県議会のずれた感覚を是正するため、自らの手でボーナスを引き上げようとする

自民党・無所属の会へ厳しい質問や反対討論を行ったり、

ルールを守らず議案に関係のない質疑を好き放題繰り返すことに強く抗議を申し入れました。

本会議も委員会も税金で運営されています。

無駄な議論をする時間など1分1秒許されないです。

税金の無駄使いがこの様な意識から生まれることを

自民党・無所属の会には理解して頂きたいと思います。

さらに、議員特権の一つである

新幹線でのグリーン車利用に関しても廃止を提案しました。

1月中に他会派へ返答を求めており、どのような回答がくるのか。

行財政改革に合わせて、議会改革にもしっかりと取り組んだ12月定例会。

ボーナスの引上げは不本意ながら可決されました。

私たちの会派議員は、毎月の身を切る改革に今回の引上げ分を上乗せし、

令和6年能登半島地震で被災された地域に寄付をする予定です。

県民目線を忘れることなく、行財政改革、議会改革に

全力で取り組みますので引き続き今後の奈良県議会にご注目ください。



各メンバーの選出区ごとに  
色分けしています。

## 旧態依然の県議会改革！

12月定例会 日本維新の会が行った申し入れ

### ▶新幹線グリーン料金支給廃止に関する申し入れ

奈良県議会議員の出張時等で新幹線のグリーン車を利用  
するという社会情勢と乖離した議員特権を廃止し、県民格  
差の是正に努め、県政発展に尽力するための申し入れ。



### ▶県議会の運営に対する申し入れ

「委員会に付託された議案の審査は付託議案の範囲内で行うことが原則」という  
ルールを守らず、付託された議案の範囲を大きく逸脱した質疑を自由民主党・無  
所属の会の委員が繰り返したことへの申し入れ。

## 日本維新の会は断固反対！

奈良県議会 期末手当(ボーナス)支給状況

12月補正予算で、日本維新の会は反対した  
「議員ボーナス引上げ議案」が可決されたことで増額となりました。

### ●議員

約366.6万円  
令和4年度 合計  
↑約11万円 アップ  
約377.9万円  
令和5年度 合計

### ●議長

約454.7万円  
令和4年度 合計  
↑約14万円 アップ  
約468.7万円  
令和5年度 合計

### ●副議長

約397.2万円  
令和4年度 合計  
↑約12万円 アップ  
約409.4万円  
令和5年度 合計

## 令和5年 12月定例会

## 代表質問

一部抜粋

佐藤 光紀 議員



- ① 奈良県教育の充実について
- ② 西和医療センターの移転・再整備について
- ③ 地方自治体が担う海外地方政府との友好交流について
- ④ 道の駅「クロスウェイなかまち」の活用等について
- ⑤ 奈良県のがん対策について
- ⑥ 地域公共交通のあり方について



## ① 奈良県教育の充実について

**質問** 高校授業料等の実質無償化と、県立高校のトイレの完全洋式化・乾式化に込められた知事の思いについてお聞かせください。

**答弁** 次世代への投資は、奈良県の成長につながるとの強い信念を持っている。子どもたちに自らが希望する道を経済的な事情を気にすることなく歩んでもらいたいと考え、高校授業料等の実質無償化について、議論を重ねてきた。その結果、令和6年度から支援を大幅に拡充し、年収目安が910万円までの世帯に国の就学支援金と合わせて最大63万円まで、年収目安910万円以上の多子世帯に最大5万9400円まで支援したいと考える。また、県立高校の快適性を向上させるために、令和6年度から5カ年計画で全校、全トイレの洋式化・乾式化に取り組む。今後、さらに制度・事業の詳細を詰めて、必要な額を令和6年度の予算案に計上する。

## 一般質問

一部抜粋

清水 勉 議員



- ① 関西広域連合全部参加のメリットについて
- ② 公園施設の充実にかかる財源確保のための一部公園駐車場有料化の検討について
- ③ 寄宿舎や高校学生寮を利用する学生の負担軽減について
- ④ パリアフリー基本構想策定推進の必要性について
- ⑤ 観光行政に対する財源確保のための宿泊税の検討について

## 関西広域連合全部参加のメリットについて

**質問** 既に参加している分野を除く5分野について、参加することの意義とメリットをお聞かせください。

**答弁** 関西地域全体での知恵や資源を活用して、広域で連携し、課題に取り組むことで、費用負担に見合う効果があると考える。医療分野では、医療関係者等が広域連合の各種セミナーに参加することが可能となり、最新の知見が共有できるようになる。また、資格試験等分野では、資格等の試験事務を広域連合へ一元化することで事務軽減できるなどのメリットを新たに享受できる。

中川 崇 議員



- ① 大規模広域防災拠点用地でのヘリポートの整備について
- ② 国内旅行における観光情報の発信について
- ③ 「オーガニックビレッジ」の推進について
- ④ 西ノ京駅周辺のまちづくりにかかる道路整備等について
- ⑤ 教員の確保について
- ⑥ 平城宮跡歴史公園の整備について

## 西ノ京駅周辺のまちづくりにかかる道路整備等について

**質問** 西ノ京駅は、駅へのアクセス道が脆弱など複数課題があり、西側で市道や踏切の拡幅等も含め市と地元が協力して進めているなか、県も呼応して協力するべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答弁** 西ノ京駅周辺は、道路の幅員が狭く、危険であるなどの課題を認識している。県道の拡幅計画は、市道の拡幅計画と整合させる必要があり、県としても駅西側ロータリーの整備など、市や地元が進めるまちづくりの検討に積極的に参画し、連携して取り組んでいく。

星川 大地 議員



- ① SNSを活用した情報発信について
- ② 保育の担い手確保について
- ③ インターネット上の誹謗中傷について
- ④ 警察職員の働き方について

## インターネット上の誹謗中傷について

**質問** 高校生間でのインターネットやSNSを通じた誹謗中傷やいじめに対して、県教育委員会としてどんな対策を講じているのかお聞かせください。

**答弁** いじめの被害者にも加害者にもならないよう、自らの行動を振り返り、互いの人権を確かめ合う機会として、アンケートを実施している。各県立高等学校では、アンケートの分析結果を踏まえ、情報モラルの向上に取り組んでいるほか、教員の対応力向上も図っている。関係機関と連携し、児童生徒への指導、保護者への啓発を図っている。



## 委員会 報告

各議員の詳しい質問内容は QRコードの動画をご覧ください。

## 厚生委員会



福田

工藤



## 建設委員会



松尾

中川

小林



## 総務警察委員会



清水

原山

山田

## 経済労働委員会



佐藤

松木

清田



## 文教くらし委員会



福西

関本

星川

